**令和７年度版『わたしたちの那覇市　４年生』年間指導計画・評価計画（案）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **広げてみよう、市から県へ**  **みりょくがいっぱい！知りたいな、47都道府県** | **配当時間　2時間** | **教科書　４**  **P8～13** |

**※こちらは教科書を使って学習して下さい**

**目　　標**

●47 都道府県の名称と位置を理解できるようにする。

**評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **知識・技能** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| ・47 都道府県の名称と位置について、地図帳などで確かめたり、日本の白地図などに書き表したりしている。  ・地図帳を活用して、都道府県の特産物や祭り、観光地などを調べ、その都道府県の位置や名称を捉えている。 |  |  |

**広げてみよう、市から県へ／みりょくがいっぱい！知りたいな、47都道府県　【配当2時間】**

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表、（行）＝行動観察、（ノ）＝ノート・作品、（テ）＝テスト

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ページ | 本時のねらい | ○主な学習活動／◆学習内容 | 本時の学習活動 | 評価規準/評価方法 |
| P8～11  【配時1】 | 地図帳を使って、自分たちの県の地理的位置を捉えたり、47都道府県の名称と位置を調べたりする。 | ○地図帳を使って自分たちの県の位置、47都道府県の名称と位置を調べ、各都道府県の位置関係を方位を使って言い表したり、他の都道府県について知っていることや地図帳などで調べてわかったことを話し合ったり、発表したりする。  ◆日本は47の都道府県からなること。各都道府県の名称と位置、自分たちの県や隣接県の地理的位置や名称。 | ①行ったことがあったり、知っていたりする都道府県を発表し、その都道府県の位置を地図帳で確かめる。  ②地図帳を見ながら、自分たちの都道府県の地理的位置を様々な表現で言い表す。  ③地図帳を活用して、特産物や祭り、観光地など各都道府県の情報を収集しながら、都道府県の名称や位置を捉える。 | 【知技】地図帳を使って、自分たちの県の地理的位置や他の都道府県との位置関係を捉えたり、各都道府県の特産物や祭り、観光地などを捉えたりしている。（発）（ノ） |
| P12～13  【配時1】 | 地図帳を活用して、クイズの問題を作成したり、クイズ大会を行ったりして、47都道府県の名称と位置を捉える。 | ○都道府県のクイズ大会を開くために、地図帳を活用してクイズを作成し、47都道府県の位置と名称を覚える。  ◆各都道府県には様々な特色があり、それらを調べるために地図帳が活用できること。 | ①地図帳などを活用して、クイズカードを作成する。  ②班に分かれて、都道府県のクイズ大会を開く。  ③クイズのカードづくりをふり返り、地図帳の使い方や生かし方について話し合う。 | 【知技】地図帳を活用して、都道府県の特産物や祭り、観光地などを調べ、その都道府県の位置や名称を捉えている。（発）（ノ） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **大単元１** | **県の地図を広げて** | **配当時間　8時間** | **わたしたちの那覇市**  **Ｐ６２～７３** |

**目　　標**

●自分たちの都道府県の地理的概要について、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

●自分たちの県の地理的環境の特色について、文章で記述したり、資料などを用いて説明したり話し合ったりする力を養う。

●自分たちの都道府県の地理的概要について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養う。

**評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **知識・技能** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| ・自分たちの都道府県の地理的環境の概要を理解している。  ・自分たちの県の様子について、地図や各種の資料で調べ、白地図などにまとめている。 | ・我が国における自分たちの都道府県の位置、都道府県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、都道府県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現している。 | ・都道府県の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 |

**大単元の構成**

|  |  |
| --- | --- |
| **県の地図を広げて　⑧** | |
|  |  |
| オリエンテーション　① | |
|  |  |
| 県の地図を見てみよう　① | |
|  |  |
| 県の土地の使われ方　① | |
|  |  |
| 農業や漁業がさかんな地域　① | |
|  |  |
| 工業がさかんな地域　① | |
|  |  |
| 観光業がさかんな地域　① | |
|  |  |
| 県の交通の様子　① | |
|  |  |
| **まとめる**　県の様子について調べたことを整理しよう　① | |

○の中の数字は、配当時数

**大単元名：１　県の地図を広げて　【配当７時間】**

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表、（行）＝行動観察、（ノ）＝ノート・作品、（テ）＝テスト

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ページ | 本時のねらい | ○主な学習活動／◆学習内容 | 本時の学習活動 | 評価規準/評価方法 |
| オリエンテーション  副読本  Ｐ６２～６３  【配時１】 | 自分たちの県の地理的概要に着目して、県の地形や産業、交通の様子について調べるための学習問題をつくり、学習の見通しをもつ。 | ○地図帳を見て、自分たちの県の位置について様々な表現で言い表したり、県の様子について知りたいことや疑問に思ったことを話し合ったりして、学習問題をつくり、学習計画を立てる。  ◆県の地形や産業、交通の様子を調べるための学習問題をつくり、学習の見通しを立てること。  **学習問題　わたしたちの住んでいる県の地形、産業や交通は、どのような様子なのだろう。** | ①地図帳を見ながら、自分たちの県の地理的位置について言い表す。  ②自分たちの県の様子について知りたいことを出し合う。  ③県の様子について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立てる。 | 【思判表】自分たちの県の地図を見て思ったことや気づいたことを発表し、それらをもとに問いを見出し、学習問題として表現している。（発）（行）  【態】自分たちの県の概要について調べたいことを話し合い、見通しをもって主体的に問いを追究しようとしている。（発）（行） |
| 県の地図を見てみよう  副読本  Ｐ６４～６５  【配時1】 | 自分たちの県の平地や山地、河川や市町村の位置に着目して、県の地形の大まかな様子を捉える。 | ○県の地図を使って、県の地形や土地の様子を等高線から読み取り、県の地勢の概要について調べる。  ◆自分たちの県の地形の様子、主な市町村、山地、河川の名称と位置。 | ①地図を見ながら、県の土地の様子について気づいたことを話し合う。  ②土地の高さを等高線で読み取る。  ③県の形について、地図から読み取ったことを話し合う。 | 【知技】地図帳や衛星写真、地形図を使って、自分たちの県の地形の様子について調べている。（発）（ノ） |
| 県の土地の使われ方  副読本  Ｐ６６  【配時１】 | 県の土地利用と地形に着目して、県の土地利用の特色を読み取ったり、土地利用と地形とを関係づけていえることを考えたりする。 | ○土地利用図を活用して、自分たちの県の土地の使われ方を地形と関係づけて読み取り、わかったことをノートにまとめる。  ◆自分たちの県の土地利用は、地形の様子と関わりがあること。 | ①県のどこの土地が、どのようなことに使われているのかを話し合う。  ②県の土地の使われ方について、気づいたことを話し合う。  ③県の土地の使われ方を、地形と関係づけて考える。 | 【知技】土地利用図と地形図を使って、自分たちの県の土地利用と地形とを関係づけて読み取っている。（発）（ノ） |
| 農業や漁業がさかんな地域  副読本  Ｐ６７～６８  【配時１】 | 自分たちの県の主な農産物や海産物とその産地、産地の分布に着目して、県内のどこで農業、漁業が盛んなのかを調べる。 | ○地図や写真、グラフなどを使って、自分たちの県の主な農産物や海産物と、それらの主な産地を調べ、わかったことをノートにまとめる。  ◆自分たちの県の主な農産物や海産物と、県内の農業や漁業が盛んな地域。県内でとれる農産物や海産物は様々あり、場所によってとれる物に違いがあること。 | ①県のどこで、どのような農産物がつくられているのか調べる。  ②県でつくられている、主な農産物を調べる。  ③県のどこの海で、どのような海産物がとれるかを調べる。 | 【知技】自分たちの県の主な農産物、海産物とその産地を示した地図や主な農産物の生産量のグラフを読み取っている。（発）（ノ） |
| 工業がさかんな地域  副読本  Ｐ６９～７０ 【配時１】 | 自分たちの県で工業が盛んな地域に着目して、その分布や生産される主な工業製品を調べたり、その地域で工業が盛んな理由を調べたりする。 | ○地図や写真、グラフなどを使って、自分たちの県の主な工業製品と工業が盛んな地域や分布について調べ、わかったことをノートにまとめる。  ◆自分たちの県で工業が盛んな地域と、生産される主な工業製品。また、県内で特に工業が盛んな地域には、盛んになるための条件があること。 | ①県でつくられた工業製品の市や町ごとの出荷額を調べる。  ②北九州市で、特に工業が盛んになった理由を調べる。  ③県で工業が盛んな市や町では、どのような工業製品がつくられているのかを調べる。 | 【知技】自分たちの県の主な工業製品とその産地を示した地図や主な工業製品の生産量のグラフを読み取っている。（発）（ノ） |
| 観光業がさかんな地域  副読本  Ｐ７１～７２ 【配時１】 | 自分たちの県で観光業が盛んな地域に着目して、その分布や主な観光資源を調べたり、その地域で観光が盛んな理由を調べたりする。 | ○地図や写真、グラフなどを使って、自分たちの県の観光業が盛んな地域や分布について調べ、わかったことをノートにまとめる。  ◆自分たちの県で観光業が盛んな地域と、主な観光資源。また、県内で特に観光が盛んな地域には、盛んになるための条件があること。 | ①県を訪れる観光客訪問地域について調べる。  ②沖縄本島西海岸で、特に観光業が盛んになった理由を調べる。  ③県で観光業が盛んな市や町では、どのような観光資源があるのかを調べる。 | 【知技】自分たちの県の主な観光資源と観光が盛んな地域を示した地図や主な観光客の訪問地域のグラフを読み取っている。（発）（ノ） |
| 県の交通の様子  副読本  Ｐ７３ 【配時1】 | 自分たちの県の主な交通とその広がりに着目して、県内の交通がどこを通って、どのように広がっているかについて考える。 | ○地図や写真を使って、県内の主な交通の様子や空港・港の位置などを調べ、交通の広がり方を読み取ったり、その広がり方の理由について考えたりする。  ◆交通は、県内の離島や各市町村を結びながら、他の都道府県や外国とつながっており、この結びつきが県内の人や物の行き来を支えていること。 | ①県の道路やモノレールの広がり、空港や港の位置を地図で調べる。  ②交通は、県内のどこを、どのように結んでいるのかを読み取る。  ③県の交通の広がり方を、県の地形と関係づけて考える。 | 【知技】県の交通がどこをどのように通っているのかを地図から読み取っている。（発）（ノ） |
| ＜まとめる＞ 県の様子について調べたことを整理しよう  教科書  P26～27  【配時１】  「教科書を使って学習して下さい」 | 県の地形や産業、交通について調べたことを白地図などに書き込みながらふり返り、学習問題について考える。 | ○県の地形や産業、交通の様子について分かったことを白地図に表現したり、白地図に書き込んだものを見ながら、県の様子を表などに整理したりする。  ◆自分たちの県の地形、土地利用、主な産業、交通の広がりといった県の主な概要。 | ①県の様子について、調べてわかったことを話し合う。  ②話し合ったことを県の白地図に表す。  ③地形、産業、交通などの項目に分けた表を作り、県の白地図を見ながら分かったことを表に書き入れる。 | 【知技】県の地形や土地利用、産業、交通について調べたことを表や白地図などにまとめている。（発）（テ）  【思判表】学習問題を確かめ、調べてきたことをもとに県の概要について表現している。（発）（ノ） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **大単元２** | **健康なくらしとまちづくり** | **配当時間　29時間** | **わたしたちの那覇市**  **Ｐ７４～９７** |

**目　　標**

●人々の健康と生活環境を支える働きについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

●人々の健康と生活環境を支える働きについて、相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。

●人々の健康と生活環境を支える働きについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

**評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **知識・技能** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| ・廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。  ・飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるように進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。  ・人々の健康や生活環境を支える事業について、関連施設や事業所を見学したり、地図や資料などで調べたりして、まとめている。 | ・処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現している。  ・供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、飲料水、電気、ガスの供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現している。 | ・人々の健康や生活環境を支える事業について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。  ・地域の人々の健康と生活環境を支える働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 |

**大単元の構成**

ごみと水について学んだことを、くらしに役立てよう　①

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| オリエンテーション　① | | | | | | | | | | | |  | | **くらしと電気** | | | | |
|  |  | | | | | | |  | | | | | | | | |  | |
| **１　ごみはどこへ　⑭** | | |  | | | | **２　水はどこから　⑬** | | | | | |  | | | |
| いずれか  一つを選択 | | | |
|  |  | | | | | | | | | |  | |
|  |  | **ガスはどこから** | | |
| 家のごみを調べて　① | | | | ※「わたしたちの那覇市」では  「水はどこから」を扱います。 | | | | | | |  | |  |
|  |  | | | | | | | | |  | | | | | | | |
| 学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう　① | | | |  | | １日に使う水の量を調べよう  学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう　① | | | | | | | | | | | |
|  |  | | | | | | | | |  | | | | | | | |
| ごみの収集の様子を調べよう　① | | | |  | | 水はどこから流れてくるのか　　① | | | | | | | | | | ○の中の数字は、配当時数 | |
|  | |  | | | | | | | |  | | | | | |
| クリーンセンター（清掃工場）を見学しよう　④ | | | |  | | 浄水場を見学しよう　　③ | | | | | | | | | |
|  |  | | | | | | | | |  | | | | | |
| ごみをもやした灰のゆくえ　① | | | |  | | 水道管を守る人々　　① | | | | | | | | | |
|  |  | | | | | | | | |  | | | | | |
| 資源化物はどうなるの　① | | | |  | | 水をたくわえる湖とダム　　① | | | | | | | | | |
|  |  | | | | | | | | |  | | | | | |
| こんなにお金がかかるなんて　① | | | |  | | 水源を守る取り組み　　① | | | | | | | | | |
|  | |  | | | | | | |  | | | | | | |
| スーパーマーケットでは・市の人たちは…　① | | | |  | | よみがえった水・水をむだにしないためには…　② | | | | | | | | | |
|  | |  | | | | | | |  | | | | | | |
| わたしたちには何ができるかな　① | | | |  | | まとめる水の通り道をすごろくに表そう！② | | | | | | | | | |
|  | |  | | | | | | |  | | | | | | |
| まとめる・つなげるごみの問題について、地域の人と話し合おう② | | | | |  | つなげる　水を大切に使うということは…① | | | | | | | | | | | |
|  | |  | | |  | | | |  | | | | | | | | |
|  | | | | |  |  | | | | | | | | | | | |
|  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **小単元１** | **ごみはどこへ** | **配当時間　13時間** | **わたしたちの那覇市**  **Ｐ７４～８５** |

**目　　標**

●ごみを処理する仕組みについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

●ごみを処理する仕組みや処理に協力する人々の取り組みについて、それらが果たす役割を考え、ごみ処理に見られる課題を把握して、その課題の解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。

●ごみの処理について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

**評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **知識・技能** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| ・ごみを処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。  ・ごみを処理する仕組みやその再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめている。 | ・ごみを処理するための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現している。 | ・学習したことをもとに、ごみを減らすために自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして、自らもごみの適切な処理や再利用に協力しようとしている。  ・ごみの処理について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 |

**大単元名：２　健康なくらしとまちづくり　【配当29時間】**

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表、（行）＝行動観察、（ノ）＝ノート・作品、（テ）＝テスト

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ページ | 本時のねらい | ○主な学習活動／◆学習内容 | 本時の学習活動 | 評価規準/評価方法 |
| オリエンテーション  副読本  Ｐ７４ 【配時１】 | 学校から出るごみに着目して、自分たちの生活では様々な場所で多くの種類のごみが出ていることを捉える。 | ○学校生活では、どこでどのような種類のごみが、どれくらいの量出るのかについて調べ、身の回りで出るごみに着目する。  ◆学校生活をはじめ、日常生活の様々な場面でごみが出ていること。 | ①学校内のどこにどのようなごみが出ているかを調べる。  ②調べて分かったことを話し合う。  ③話し合ったことをもとに、自分の家のごみについて調べる計画を立てる。 | 【知技】学校内で出るごみの種類や量、処理の仕方を調べ、学校生活では様々な場所で、多くの種類のごみが出ていることを捉えている。（発）（行）（ノ） |

**小単元名：１　ごみはどこへ　【配当14時間】**

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表、（行）＝行動観察、（ノ）＝ノート・作品、（テ）＝テスト

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ページ | 本時のねらい | ○主な学習活動／◆学習内容 | 本時の学習活動 | 評価規準/評価方法 |
| 家のごみを調べて（学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう）  副読本  Ｐ７５～７６ 【配時１】 | 家から出るごみに着目して、家からは様々な種類や量のごみが出ていること、ごみの収集にはきまりがあることを捉える。  身の回りで出される様々な種類のごみが、どこでどのように処理されるのかについて調べるための学習問題をつくり、学習の見通しをもつ。 | ○家から出るごみの種類や量と、ごみを収集するときのきまりを調べ、気になったことや疑問に思ったことを話し合う。  ◆家からは様々な種類のごみが出ていること。ごみは種類ごとに分別して収集に出されていること。  ○身の回りから出たごみについて調べて疑問に感じたことや知りたいと思ったことを話し合い、学習問題をつくり、学習計画を立てる。  ◆ごみの処理に関する問いを整理して一文にまとめ、学習問題として表し、学習計画を立てること。  **学習問題　わたしたちのくらしから出たごみは、どのようにして集められ、処理されるのだろう。** | ①家から出たごみの種類と量を調べる。  ②ごみの分別の仕方や収集のきまりを調べる。  ③調べてわかったことを話し合う。  ④生活で出されるごみについて疑問に思ったことを話し合う。  ⑤話し合ったことをもとに、ごみの処理について調べることを整理し、学習問題をつくる。  ⑥学習問題について予想し、学習計画を立てる。 | 【知技】家から出るごみを調べ、ごみの種類や出る量には様々な違いがあることや、ごみを収集に出す際にはきまりがあることを捉えている。（発）（ノ）  【思判表】家から出るごみの種類や量を調べ、ごみの収集方法や処理の仕方について問いを見出し、学習問題として表現している。（発）（ノ）  【態】ごみの処理について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。（発）（行） |
| ごみの収集の様子を調べよう  副読本  Ｐ７７ 【配時１】 | ごみの収集の様子に着目して、ごみを収集する際の工夫や収集に出す際のきまりを捉える。 | ○ごみの出し方、収集の仕方や工夫を調べる。  ◆大量のごみを早く収集するための工夫があることや、ごみの種類によって処理方法が違うため、分別して収集を行っていること。 | ①ごみの収集の様子を調べる。  ②ごみの収集の仕方や収集の工夫を調べる。  ③ごみを分別して収集している理由を考える。 | 【知技】ごみ収集の様子を観察したり資料を読み取ったりして、市から出るごみの種類、ごみを収集する際の工夫や収集に出す際のきまりを調べている。（発）（ノ） |
| クリーンセンター（清掃工場）を見学しよう  副読本  Ｐ７８ 【配時4】 | 那覇・南風原クリーンセンターでの燃やすごみの処理の仕方に着目し、処理の工夫について捉える。 | ○那覇・南風原クリーンセンターを見学し、燃やすごみの処理の仕方と、処理する際の工夫について調べる。  ◆那覇・南風原クリーンセンターでは、燃やすごみを工夫して処理していること。 | ①那覇・南風原クリーンセンターを見学する計画を立てる。  ②燃やすごみを処理する様子を調べる。  ③那覇・南風原クリーンセンターで行われている処理の工夫や取り組みを調べる。 | 【知技】那覇・南風原クリーンセンターを見学したり、清掃工場の資料を活用したりして、燃やすごみの処理の仕方や、処理の工夫を適切に調べている。（発）（ノ） |
| ごみをもやした灰のゆくえ  副読本  Ｐ７９～８０  【配時1】 | 那覇エコアイランドでの処理の仕方に着目し、処理の工夫について調べ、那覇エコアイランドでの処理の工夫や抱える課題について捉える。 | ○那覇エコアイランドでの処理の仕方や処理の工夫について調べ、ごみのゆくえについてまとめる。  ◆那覇エコアイランドの使用を持続できるように、処理の仕方や周囲の環境に配慮するといった取り組みをしていること。 | ①ごみを燃やした後の灰のゆくえを調べる。  ②那覇エコアイランドの取り組みや工夫を調べる。  ③那覇エコアイランドがかかえる問題について話し合う。 | 【知技】那覇エコアイランドでの処理の仕方や処理の工夫を調べ、ごみを処理し続けるには、費用や用地の確保といった課題があることを捉えている。（発）（ノ） |
| 資源化物はどうなるの  副読本  Ｐ８１ 【配時１】 | 資源化物の処理の仕方に着目し、リサイクルとそれを進める上で大切な人々の取り組みについて捉える。 | ○資源化物の処理の仕方と、分別された資源化物の種類を調べる。  ◆資源化物をリサイクルしやすくするために、自分たちも分別に取り組むなどの協力が必要であること。 | ①資源化物の処理の仕方を調べる。  ②仕分けられた資源化物の種類や量を調べる。  ③リサイクルについて調べる。 | 【知技】資源化物の処理の仕方を捉え、資源化物をリサイクルしていくためには人々の協力が必要であることを理解している。（発）（ノ） |
| こんなにお金がかかるなんて  副読本  Ｐ８２ 【配時１】 | 那覇市のごみの量の変化と処理にかかる費用の変化に着目し、処理の仕方や人々の取り組みの変化について捉える。 | ○那覇市のごみの量の変化やごみの処理にかかる費用の変化について調べ、変化の理由を調べる。  ◆那覇市のごみの量や処理にかかる費用、処理の方法は、ごみの分別や3Rの取り組みなどによって変化してきたこと。 | ①那覇市のごみの量とごみの処理にかかる費用の変化について調べる。  ②ごみの量に対し、ごみの処理にかかる費用が減ってきたわけを考える。  ③那覇市のごみ処理のようすが移り変わってきたことについて調べ、気づいたことを話し合う。 | 【知技】那覇市のごみの量と処理にかかる費用の変化を人々の生活の変化と関わらせて捉え、ごみを処理する事業が公衆衛生の向上に役立ってきたことを理解している。（発）（ノ） |
| スーパーマーケットでは・市の人たちは…  副読本  Ｐ８３～８４ 【配時１】 | 地域の人々のごみを減量するための取り組みに着目し、取り組みの工夫や効果を捉える。 | ○地域の人々のごみを減量するための取り組みとその工夫について調べる。  ◆地域の人々は、仕事などを通して、ごみの減量や再生利用の取り組みを進めていること。 | ①スーパーマーケットが行う、ごみを減らすための取り組みを調べる。  ②「沖縄リサイクル運動市民の会」や「アースの会」などが行う、ごみを減らすための取り組みを調べる。③取り組みを調べて、わかったことや気づいたことを考える | 【知技】地域の人々が行うごみを減量したり、再生利用したりする取り組みを調べ、その工夫や効果について理解している。（発）（ノ） |
| わたしたちには何ができるかな  副読本  Ｐ８５  【配時１】 | ○これからのごみの減量にむけて、自分たちにできる取り組みを考え、表現する。 | ○ごみに関わる問題やごみを減量するための地域の人々の活動をふり返り、ごみの減量のために自分たちにできることを考え、表現する。  ◆自分も地域社会の一員として、ごみ減量のためにできる取り組みがあること。 | ①ごみを減量するための地域の人々の取り組みを振り返る。  ②ごみに関する問題を地域の人々と話し合い、学習問題について考えたことをノートに書く。  ③学習問題について確かめ、ごみを減量するために自分にできることについて考え、発表する。 | 【思判表】学習問題を確かめ、ごみの処理についてわかったことや自分の生活と関連づけて考えたことを適切に表現している。（発）（ノ）  【思判表】ごみ処理や減量について自分が協力できることを考えたり、学習したことの中から選択・判断したりして表している。（発）（ノ） |
| ＜まとめる＞  ＜つなげる＞ ごみの問題について、地域の人と話し合おう  教科書 P48～49 【配時2】  【教科書を使って学習して下さい】 | ○学習問題をふり返り、ごみを減量するための取り組みを地域の人々と一緒に話し合い、学習問題について自分の考えを表現する。  ○これからのごみの減量にむけて、自分たちにできる取り組みを考え、表現する。 | ○ごみに関わる問題やごみを減量するための地域の人々の活動をふり返り、ごみの減量のために自分たちにできることを考え、表現する。  ◆自分も地域社会の一員として、ごみ減量のためにできる取り組みがあること。 | ①ごみを減量するための地域の人々の取り組みを振り返る。  ②ごみに関する問題を地域の人々と話し合い、学習問題について考えたことをノートに書く。  ③学習問題について確かめ、ごみを減量するために自分にできることについて考え、発表する。 | 【思判表】学習問題を確かめ、ごみの処理についてわかったことや自分の生活と関連づけて考えたことを適切に表現している。（発）（ノ）  【思判表】ごみ処理や減量について自分が協力できることを考えたり、学習したことの中から選択・判断したりして表している。（発）（ノ） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **小単元２** | **水はどこから** | **配当時間　13時間** | **わたしたちの那覇市**  **Ｐ８６～９７** |

**目　　標**

●水を供給する仕組みについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

●水を安定的に供給するための仕組みや人々の取り組みについて、それらが果たす役割を考え、水をどのように使っていけばよいかについて選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。

●水の供給や使い方について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

**評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **知識・技能** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| ・水道を供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。  ・水道を供給する事業について、関連施設や事業所を見学したり、地図や関係機関が作成した資料などで調べたりして、県の白地図や図表などにまとめている。 | ・水道の供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、飲料水の供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現している。 | ・学習したことをもとに、水を大切な資源として捉え、節水などに向けて、自分たちが協力できることなどを考えたり選択・判断したりするなど、資源の有効利用に関心を高めようとしている。  ・水道を供給する仕組みについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 |

**小単元名：２　水はどこから　【配当13時間】**

※「水はどこから」か、P72～77、78～79の各内容のいずれかを選択して学習

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表、（行）＝行動観察、（ノ）＝ノート・作品、（テ）＝テスト

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ページ | 本時のねらい | ○主な学習活動／◆学習内容 | 本時の学習活動 | 評価規準/評価方法 |
| １日に使う水の量を調べよう  学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう  副読本  Ｐ８６～８７ 【配時１】 | 家で使われる水の用途や量を調べ、生活の様々な場面でたくさんの水が使われていることを捉える。  自分たちが生活の中で使っている大量の水を、誰がどのようにして供給しているのかについて調べるための学習問題をつくり、学習の見通しをもつ。 | ○自分の家の水の用途や使用量を調べ、疑問に感じたことを話し合う。  ◆水は日常生活の様々な場面で大量に使われていること。  ○水の供給について、知りたいことや疑問に思ったことを整理して学習問題をつくり、学習計画を立てる。  ◆水の供給に関する問いを整理して一文にまとめ、学習問題として表し、学習計画を立てること。  **学習問題　わたしたちがくらしの中で使っている水は、どこから送られ、どのようにしてきれいな水に**  **なるのだろう。** | ①自分たちが1日に、どこで、どれくらいの量の水を使っているかを調べる。  ②家で使われる水の量や、自分たちの水の使い方について、気づいたことを話し合う。  ③話し合ったことをもとに、水について、気になったことや疑問に思ったことを発表する。  ④生活で使っている水について疑問に思ったことを話し合う。  ⑤話し合ったことをもとに、水の供給について調べるための学習問題をつくる。  ⑥学習問題について予想し、学習計画を立てる。 | 【知技】自分たちは家庭など、生活の様々な場面でたくさんの水を使っていることを捉えている。（発）（ノ）  【思判表】水の用途やその使用量を調べて思ったことや考えたことを発表し、水の供給について問いを見出し、学習問題として表現している。（発）（ノ）  【態】水の供給について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。（発）（行） |
| 水はどこから流れてくるのか  副読本  Ｐ８８ 【配時１】 | 水源やダム、浄水場などの水道に関わる施設に着目して、水の経路について捉える。 | ○地図や写真資料などを用いて、自分たちの使う水が送られてくる経路について調べる。  ◆自分たちが使う水は、水源から河川、ダムや浄水場などの各施設を経て送られてきていること。 | ①水道管をたどると、どこへつながるかを調べる。  ②水道にかかわる施設がどこにあるか、地図で調べる。  ③調べたことを記録していく方法を考える。 | 【知技】地図や資料をもとに、水源から自分たちのもとに水が送られてくるまでに関わる施設や経路について捉えている。（発）（ノ） |
| 浄水場を見学しよう  副読本  Ｐ８９～９０ 【配時3】 | 浄水場の仕組みやそこで働く人の仕事の工夫に着目して、浄水場の役割を捉える。 | ○浄水場にある施設や浄水の仕組みについて、働く人から話を聞いたり、図解を見たりして調べる。  ◆浄水場のはたらきによって、安心して飲める水道水が安定的に供給されていること。 | ①浄水場の様子や仕組みを調べる。  ②浄水場のはたらきを調べる。  ③調べて分かったことをカードに書く。 | 【知技】浄水場の仕組みやはたらきを捉え、浄水場の役割を理解している。（発）（ノ） |
| 水道管を守る人々  副読本  Ｐ９１～９２ 【配時1】 | 水道管の役割や水道管を守る人々の工夫や努力に着目して、水道の普及が公衆衛生の向上に果たした役割について捉える。 | ○水道管の役割について話し合ったり、水道管を守る人々の取り組みについて調べたりして、水道管の普及が人々の暮らしに与えた影響について考える。  ◆水道管を守る人々の努力によって、私たちは安全な水を安定的に使うことができること。水道の普及は公衆衛生に役立っていること。 | ①水道管のはたらきを考える。  ②水道管を守るための県の取り組みについて調べる。  ③水道の広がりが、人々の生活に果たした役割について考える。 | 【知技】水道管を守る人々の工夫や努力によって水道水の安定供給が支えられていることや、水道の普及が公衆衛生の向上に役立ってきたことを理解している。（発）（ノ） |
| ダムや森林のはたらきを考えよう  副読本  Ｐ９３ 【配時１】 | ダムと水源の森林のはたらきに着目して、それらに共通する役割や機能を捉える。 | ○ダムを見学して、ダムや森林のはたらきについて、係の人から話を聞いたり、図解を見たりして調べる。  ◆ダムは水道水を安定供給するために貯水量や流水量を調節していること。また、ダムと森林には保水作用という共通のはたらきがあること。 | ①ダムのはたらきを調べる。  ②森林のはたらきを調べる。  ③ダムと森林に共通するはたらきについて考える。 | 【知技】ダムと森林のはたらきについて考え、それら両方に共通するはたらきがあることを理解している。（発）（ノ） |
| 水源を守る取り組み  副読本  Ｐ９４ 【配時1】 | 水源の森林の保全に努める活動に着目し、県や地域を越えた水を守るための取り組みについて調べる。 | ○水源の森林を守る活動に携わる人、活動に協力する県の担当者などから話を聞いたり、活動している場所（やんばる）を地図で確認したりする。  ◆水源地や沿川地域の人々と県は協力して水を守る取り組みを進めていること。 | ①水源の森林を守るための活動について調べる。  ②水源林のはたらきにつちえ調べる。  ③水源や川の水を守る様々な取り組みが行われている理由を考える。 | 【知技】水源林を守るための取り組みを、協力して行っていることを理解している。（発）（ノ） |
| よみがえった水  水をむだにしないためには…  副読本  Ｐ９５～９６ 【配時２】 | 使った後の水のゆくえと下水処理施設のはたらきに着目して、水源から下水処理されるまでを総合的にふり返り、水の循環を捉える。 | ○使った後の水のゆくえと、下水処理のはたらきを調べる。  ○わたしたちができる節水の工夫について考える。  ◆使った後の水は、下水処理施設を経て海に流され（更に再生水として活用されることもある）、蒸発して再び雨になって水源に降り注ぎ、自分たちの使う水となるというように、水は循環していること。 | ①使ったあとの水のゆくえを資料で調べる。  ②下水処理施設のはたらきを調べる。  ③下水処理施設できれいにした水のゆくえを調べ、水の循環について考える。  ④節水する方法について考え、話し合う。 | 【知技】使った後の水のゆくえと下水処理施設のはたらきを調べ、水源から下水処理まで水の動きを総合的にふり返り、水の循環を捉えている。（発）（テ） |
| ＜まとめる＞ 水の通り道をすごろくに表そう！  教科書 P66～67 【配時2】  「教科書を使って学習して下さい」 | 水が供給されるまでの経路をふり返り、水道事業の役割や人々の協力をすごろくの中に表すとともに、学習問題について自分の考えや水を大切に使っていくために自分にできることを考え、表現する。 | ○水が供給されるまでの経路をすごろくに表し、水道事業の役割や人々の協力について考え、学習問題について自分の考えをまとめる。  ◆水が供給されるまでには、様々な施設や人々の連携や協力があること。水を大切に使うために自分にできる取り組みがあること。 | ①調べてきたことをもとに、水が供給されるまでの経路をすごろくに表す。  ②すごろくのゲームを通して、水道事業の役割や人々の協力についてふり返る。  ③学習問題について自分の考えをまとめ、水を大切に使っていくために自分にできることを考え、表現する。 | 【思判表】学習問題を確かめ、水を供給する仕組みや安定的に供給するための工夫や取り組みについてわかったことを、自分の言葉で表現している。（発）（ノ）  【思判表】水を大切に使っていくために、自分が協力できることを考えたり学習したことの中から選択・判断したりして、発表している。（発）（ノ） |
| ＜つなげる＞  水を大切に使うということは…  教科書 P68～69 【配時1】  「教科書を使って学習して下さい」 | 地域の人々の水の使用量の変化に着目して、節水の取り組みが進められていることを捉え、自分たちにできることを考え、表現する。 | ○グラフなどの資料から、自分たちの地域の水の使われ方の変化に着目して、節水への取り組みについて調べる。  ◆市内の工場や各家庭では以前に比べ水の使用量が減ってきていること。また、市民も水を大切に使おうとする意識が高まってきていること。 | ①これまでに書いたノートや作ったすごろくから、調べてきたことをふり返る。  ②自分たちの地域では、水がどのように使われているかを調べる。  ③水を大切に使う取り組みを調べ、自分たちにできることを考え、表現する。 | 【知技】地域の人々の水の使用量の変化を調べ、節水の取り組みが進められていることを捉えている。（発）（ノ） |
| ごみと水について学んだことを、くらしに役立てよう  教科書 P70～71 【配時１】  「教科書を使って学習して下さい」 | ごみの減量や節水を生活の中で実践し、思ったことや感じたことを話し合い、今後の自分たちの行動について考え、表現する。 | ○ごみの減量や節水を暮らしの中で実践して思ったことや気になったことを話し合い、これからの自分たちの行動に生かすためにどうしたらよいかを考える。  ◆実際にごみの減量や節水に取り組んでみても、その成果が思うように表れない場合があること。 | ①学習を生かして、ごみの減量や節水を実践する。  ②実践をして思ったことや感じたことを話し合う。  ③話し合ったことをもとに、これからの自分たちはどのように行動すべきか考える。 | 【態】学習したことをもとに、ごみの減量や節水を暮らしの中で実践しようとしている。（発）（行）  【思判表】ごみの減量や節水に取り組み、その経験をもとに感じたことや考えたことを適切に表現している。（発）（ノ） |

**せんたく：くらしと電気**

※「水はどこから」「くらしと電気」「ガスはどこから」のいずれか一つを選択して学習

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表、（行）＝行動観察、（ノ）＝ノート・作品、（テ）＝テスト

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ページ | 本時のねらい | ○主な学習活動／◆学習内容 | 本時の学習活動 | 評価規準/評価方法 |
| 電気はどこから P72～73 | 電気と自分たちの暮らしとの結びつきに着目し、電気の供給について調べるための学習問題をつくり、学習の見通しをもつ。 | ○停電が起きた場合の暮らしへの影響について話し合ったり、送電の経路を資料で調べたりして、暮らしと電気との関わりについて調べる学習問題をつくり、学習計画を立てる。  ◆電気にはいくつかの発電方法があり、自分たちが使う電気は送電線により自地域以外からも送られていること。 | ①停電が起きたら、暮らしはどうなるかを話し合う。  ②電気がどこから送られてくるのかを調べる。  ③暮らしと電気とのかかわりを考え、学習問題をつくる。  **学習問題　くらしをささえる電気は、どこで、どのようにしてつくられ、送られてくるのだろう。** | 【思判表】電気がどこからどのように送られてくるのかという学習問題を考え、表現している。（発）（ノ）  【態】自分たちが暮らしで使っている電気の供給について調べる見通しをもって、主体的に問いを追究しようとしている。（発）（行） |
| どのようにして、電気をつくるの P74～75 | 電気を安定供給する仕組みに着目し、暮らしに必要な電気が不足しないための計画的な取り組みと、３種類の発電の仕組みや特徴を理解する。 | ○どうすれば停電が起きないかを話し合い、電気の需給量と各種の発電方法について資料で調べる。  ◆電気は不足しないよう計画的に供給されており、主要な発電方法である火力・原子力・水力はそれぞれ仕組みが異なり、特徴があること。 | ①停電を起こさないために、どのようなことが必要かを、話し合う。  ②電気が不足なくつくられているかどうか、グラフから確かめる。  ③発電の仕組みごとに、電気のつくり方や特徴を調べる。 | 【知技】電力を安定供給するために、計画的な取り組みがなされていることや、主要な発電方法の仕組みや特徴を理解している。（発）（ノ） |
| くらしと電気のこれから P76～77 | 学習問題についてわかったことをまとめ、必要な電気が不足しないようにするために、どのようなことが大切かを考える。 | ○自然の力を利用する発電を進めようとしている理由と、電気をむだなく使う節電の方法について調べ、話し合う。  ◆電力供給のあり方として、安定的であるとともに、安全性かつ環境負荷低減への留意が必要であること。電力使用量を減らす節電への取り組みが重要であること。 | ①自然の力を利用した発電の仕組みについて調べる。  ②自然の力を利用してつくった電気を、暮らしに使っていこうとしているわけを考える。  ③暮らしに必要な電気をこれからどのようにつくり、使っていけばよいのかを考え、まとめる。 | 【知技】自然の力を利用した発電の仕組みがあり、それらを暮らしに使っていこうとする取り組みが進められていることを理解している。（発）（ノ）  【思判表】電気の使用について自分が協力できることを考えたり、学習したことの中から選択・判断したりして、発表している。（発）（ノ） |

**せんたく：ガスはどこから**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ガスはどこから P78～79 | 暮らしに欠かせないガスの供給について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立てる。そして、ガスを安定的に供給する人々の工夫や取り組みを捉え、ガスの節約など自分たちに協力できることを考える。 | ○自分たちの暮らしのどこでガスを使っているかを話し合い、ガスを安定的に供給するための工夫や取り組みについて調べる。  ◆ガスを安定的に供給するために監視体制や災害対策が整えられていること。ガスを節約するなどの取り組みが重要であること。 | ①自分たちは、ふだんどのようなことにガスを使っているかを話し合う。  ②ガスが、どのように送られてくるかを調べる。  ③ガスを安定して送り届けるために、どのような工夫があるかを調べる。 | 【態】ガスの供給について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。（発）（ノ）（行）  【知技】ガスは計画的に生産され、安定的に供給するために、様々な工夫や取り組みが行われていることを理解している。（発）（ノ）  【思判表】学習問題を確かめ、ガス供給のあり方や節約の必要性について調べたことを踏まえて、自分が協力できることを考えたり学習したことの中から選択・判断したりして、発表している。（発）（ノ） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **大単元３** | **自然災害にそなえるまちづくり** | **配当時間　7時間** | **わたしたちの那覇市**  **Ｐ９８～１０３** |

**目　　標**

●自然災害から地域の安全を守るための諸活動について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

●自然災害から地域の安全を守るための諸活動の特色や関連機関や人々の協力を捉えて、そうした取り組みの意味を考え、地域に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。

●自然災害から地域の安全を守るための諸活動について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

**評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **知識・技能** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| ・地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことを理解している。  ・地域の関係機関や人々は、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。 | ・過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現する。  ・地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして表現している。 | ・自然災害から人々を守る活動について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。  ・学習したことをもとに地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えようとしている。 |

**大単元の構成**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| オリエンテーション  災害にそなえるまちづくり① | | |  | | **水害にそなえるまちづくり** |
|  |  |
|  | いずれか一つを選択 | | |
| 市役所へ行って調べよう　① | | |  |  | **火山の噴火にそなえて** |
|  |  |
|  | |  |  | |
| 災害から人々を守るため　① | | |  | **雪の災害にそなえて** |
|  | |
|  | |
| 大切な情報  ハザードマップを見てみよう　② | | |
|  | |  |
| 災害がおきたときのそなえ　① | | |
|  | |  |
| **まとめる・つなげる**　地震や津波にそなえて　①  **【教科書を使って学習してください】** | | |

○の中の数字は、配当時数

**大単元名：３　自然災害にそなえるまちづくり　【配当10時間】**

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表、（行）＝行動観察、（ノ）＝ノート・作品、（テ）＝テスト

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ページ | 本時のねらい | ○主な学習活動／◆学習内容 | 本時の学習活動 | 評価規準/評価方法 |
| オリエンテーション  災害にそなえるまちづくり P９８ 【配時１】 | 各地で起こる様々な自然災害に目を向け、その中から自分たちの地域で特に起こりやすい自然災害を調べる対象として選ぶ。 | ○自然災害の写真を見て感じたことや、自然災害について知っていることなどを発表し、自分たちの地域ではどのような自然災害が起こるのかについて話し合う。  ◆自然災害には様々な種類があり、自分たちの地域でも起こりやすい自然災害や発生が予想される自然災害があること。 | ①自然災害が起こっているときの写真を読み取る。  ②自然災害について、知っていることや見聞きしたことを発表する。  ③発表をもとに、自分たちの地域では、どのような自然災害が起こるのかを話し合い、災害への備えに関心をもつ。 | 【思判表】様々な自然災害の写真などを見て思ったことや考えたことを発表し、調べる自然災害を選び出している（発）（行）。 |

**単元名：台風にそなえるまちづくり　【配当7時間】**

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表、（行）＝行動観察、（ノ）＝ノート・作品、（テ）＝テスト

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ページ | 本時のねらい | ○主な学習活動／◆学習内容 | 本時の学習活動 | 評価規準/評価方法 |
| 市役所へ行って調べよう  Ｐ９９  【配時1】 | 自分たちの地域で過去に起きた台風被害に着目し、台風がくり返しやってきたことを理解する。 | ○市役所で県内で過去に起こった台風被害について、防災危機管理課の人から話を聞いたり、年表や展示資料などを見たりして調べる。  ◆県内ではこれまでも大きな台風被害がくり返し起こってきたこと。 | ①市役所の防災危機管理課で調べる計画を立てる。  ②過去に地域で起こった台風の被害について調べる。  ③災害に備えてつくられている災害対策本部のはたらきについて考える。 | 【知技】地域では過去に大きな台風被害が起きたことがあり、今後も大きな地震の発生が予想されていることを理解している。（発）（ノ） |
| 災害から人々を守るため Ｐ１００ 【配時2】 | 自然災害に備える市の取り組みに着目し、市や県などの関係機関の協力の仕組みについて理解する。 | ○市役所へ行き、係の人から自然災害に備える市や県、その他の関係機関のはたらきについて話を聞く。そして、調べたことを、ノートや図にまとめる。  ◆市や県は消防や警察などの関係機関と協力して自然災害に備えていること。 | ①市役所へ行って自然災害に備える取り組みを調べる。  ②自然災害が起こったときの関係機関の役割について調べる。  ③自然災害に備える市の取り組みについてわかったことをノートに書く。 | 【知技】市は、自然災害が起こると住民を守るために、県や国などの関係機関と協力したり、日頃から自然災害に備えて地域防災計画などをつくったりしていることを理解している。（発）（ノ） |
| 大切な情報  ハザードマップを見てみよう  副読本  Ｐ１０１～１０２ 【配時1】 | 自然災害に備える市の取り組みに着目し、住民の安全を守るためには、自然災害に関する情報の収集や提供が大切であることを理解する。 | ○自然災害時に市は住民に向けてどのように情報を収集し、発信しているか、また、災害への備えとして、日頃よりどのような情報をどうやって提供しているかについて、市役所の係の人に話を聞き、調べる。  ◆自然災害発生時に市は県や国、関係機関と協力して正確な情報を迅速に収集すること。また、自然災害に備えるために普段から様々な情報を住民に提供していること。 | ①市は、自然災害の情報をどのようにして集めているのかを調べる。  ②市は、自然災害の情報をどのようにして住民に伝えているのかを調べる。  ③市が、広報パンフレットや、ハザードマップで伝えている情報を調べる。 | 【知技】市は、大きな自然災害の発生に備えて、日頃から災害時の避難に関する情報を提供したり、地震発生時には住民に正確な情報を早く届ける努力をしたりしていることを理解している。（発）（ノ） |
| 災害がおきたときのそなえ 副読本  Ｐ１０３ 【配時１】 | 地域の人々による自然災害への備えに着目し、自分たちができることに日頃から取り組むことの大切さを理解する。 | ○地域の公民館や住民の自主防災の取り組みについて話を聞いたり、自主防災倉庫の中を見せてもらったりして調べる。  ◆地域の人々は、日頃から自然災害に備えるために、自分たちにできる取り組みをしていること。 | ①地域の公民館等が取り組む自然災害への備えを調べる。  ②地域の公民館等の、地震に備えるためのくふうを調べる。  ③地域の住民の、自然災害に備える取り組みを調べる。 | 【知技】地域の人々は、自然災害に備えて、日頃から自分たちにできる取り組みを行っていることを理解している。（発）（ノ） |
| ＜まとめる＞  ＜つなげる＞ 地震や津波にそなえて  教科書 P96～97 【配時1】  「教科書を使って学習して下さい」 | 自分たちの地域の地震災害に備えるための取り組みをふり返り、学習問題について自分の考えをまとめる。 | ○大きな地震の発生に備えて誰がどのような取り組みをしているか、また、実際に地震や津波が発生すると、誰がどのようにして人々の命を守るのかについて、調べてきたことをまとめる。  ◆自分たち地域では、様々な関係機関や地域の人々が協力して地震や津波災害に備えていること。地域の一員として、地震や津波災害に備えて自分にできる取り組みがあること。 | ①学習問題を確かめ、調べてきたことをふり返る。  ②誰がどのような取り組みをしたか、調べたことを表に整理する。  ③調べてきた取り組みの中から、自分が特に大切だと思うものを選び、理由とともに発表する。 | 【知技】学習問題を確かめ、自分たちの地域が地震や津波災害にどのように備えているのかについて捉えている。（発）（ノ）  【思判表】地震や津波災害に備えるために自分が協力できることを考え、学習したことをふまえて選択・判断し、発表している。（発）（行） |

**せんたく　単元名：水害にそなえるまちづくり　【配当9時間】**

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表、（行）＝行動観察、（ノ）＝ノート・作品、（テ）＝テスト

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ページ | 本時のねらい | ○主な学習活動／◆学習内容 | 本時の学習活動 | 評価規準/評価方法 |
| 水につかったまち P98～99 【配時１】 | 過去に地域で起こった水害に着目し、地域では水害にどのように備えているかについて調べたいことを明らかにして、学習問題をつくり、学習の見通しをもつ。 | ○過去に地域で起こった水害の写真を見て、水害から人々を守る仕組みについて調べたいことを明らかにして学習問題をつくり、学習計画を立てる。  ◆地域では過去に水害が発生したこと。自分たちの地域の水害に対する備えについて調べるための学習問題をつくり、学習計画を立てること。  **学習問題　わたしたちの地域では、水害にそなえてどのような取り組みをしているのだろう。** | ①過去に起こった水害の写真を見て、感じたことを話し合う。  ②疑問に思ったことや、知りたくなったことを話し合う。  ③話し合ったことをもとに学習問題をつくり、学習計画を立てる。 | 【思判表】地域で起こった水害の写真を見て感じたことをもとに問いを見出し、学習問題として表現している。（発）（ノ）  【態】自分たちの地域の水害への備えについて予想したことを話し合い、見通しをもって主体的に問いを追究しようとしている。（発）（行） |
| 水防学習館で調べよう P100～101 【配時2】 | 過去に地域で起こった水害に関する地図や年表に着目し、自分たちの地域では水害がくり返し起こってきたことを理解する。 | ○水防学習館へ行き、写真や年表を使って、地域で起こった過去の水害やその発生原因について調べる。  ◆地域では、これまでに何度も水害が起こっており、水害が起こりやすい地理的条件があること。 | ①水防学習館へ行って、過去に起こった水害について調べる。  ②年表や地図を見て、地域で起こる災害の特徴を考える。  ③私たちの地域で、水害が起こりやすいわけを調べる。 | 【知技】自分たちの地域ではこれまでも繰り返し水害が起こってきたことや、水害が起こりやすい地理的条件があることを理解している。（発）（ノ） |
| 地域の住民の取り組み P102～103 【配時1】 | 地域の人々による水害への備えに着目し、自分たちにできることに日頃から取り組むことの大切さを理解する。 | ○地域の消防団の人や住民から、水害に備える活動について話を聞く。  ◆地域では水防団活動や避難訓練が行われ、避難時に住民同士が助け合うための取り組みがあること。 | ①地域で水防活動をしている人から話を聞く。  ②地域で行われる避難訓練について調べる。  ③地域の住民の水害に対する様々な備えを調べる。 | 【知技】地域の人々は、水害に備えて、日頃から自分たちにできる取り組みを行っていることを理解している。（発）（ノ） |
| 市役所へ行って調べよう P104～105 【配時2】 | 水害に備える市の取り組みに着目し、市や県などの関係機関の協力の仕組みについて理解する。 | ○市役所へ行き、係の人から水害に備える市や県、その他の関係機関のはたらきについて話を聞き、調べたことをノートや図にまとめる。  ◆市や県は消防や警察などの関係機関と協力して水害に備えていること。 | ①市役所へ行って、水害に備える市の取り組みを調べる。  ②水害が起こったときの関係機関の役割について調べる。  ③水害に備える市の取り組みについて、わかったことをノートに書く。 | 【知技】市は、県や国などの関係機関と協力したり、日頃から地域防災計画などをつくったりして水害に備えていることを理解している。（発）（ノ） |
| ひがいがくり返されないために P106～107 【配時2】 | 水害に備える市や県、国の取り組みに着目し、住民の安全を守るための施設や設備と、それらの役割について理解する。 | ○市役所の係の人から、市や県、国が水害対策のために設置した施設や設備について話を聞いたり、資料で調べたりする。  ◆市、県、国は、水害に備える施設や設備を設置してきたこと。日頃から住民に向けた水害に備えるための意識啓発を行っていること。 | ①市や県、国は、水害に備えて、どのような取り組みをしているのか、考える。  ②市や県、国の水害に備える取り組みを調べる。  ③過去の水害が、今の備えにどのように生かされているかを考える。 | 【知技】市は県や国と協力して、水害に備えるために河川を改修したり、施設や設備をつくったりしていることを理解している。（発）（ノ） |
| ＜まとめる＞  ＜つなげる＞ 水害にそなえて P108～109 【配時１】 | 自分たちの地域の水害に備えるための取り組みをふり返り、学習問題について自分の考えをまとめる。 | ○水害の発生に備えて誰がどのような取り組みをしているか、また、実際に地震が発生すると、誰がどのようにして人々の命を守るのかについて、調べてきたことをまとめる。  ◆自分たちの地域では、様々な関係機関や地域の人々が協力して水害に備えていること。地域の一員として、水害に備えて自分たちにできる取り組みがあること。 | ①学習問題を確かめ、調べてきたことをふり返る。  ②誰がどのような取り組みをしたか、調べたことを表に整理する。  ③調べてきた取り組みの中から、自分が大切だと思うものを選び、理由とともに発表する。 | 【思判表】学習問題を確かめ、自分たちの地域の水害への備えについてわかったことを自分の言葉で適切に表現している。（発）（ノ）  【思判表】水害に備えるために自分が協力できることを考え、学習したことをふまえて選択・判断し、発表している。（発）（行） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **大単元４** | **地域で受けつがれてきたもの** | **配当時間　９時間** | **わたしたちの那覇市**  **Ｐ１０４～１０９** |

**目　　標**

●地域の伝統と文化について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

●地域の伝統と文化の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。

●地域の伝統と文化について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

**評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **知識・技能** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| ・県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している。  ・県内の伝統や文化について、博物館などを見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめている。 | ・文化財や年中行事の歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現している。  ・地域の伝統や文化を保護したり継承したりするために自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりしたことを表現している。 | ・県内の伝統や文化について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。  ・学習したことをもとに、地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりしようとしている。 |

**大単元の構成**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **地域で受けつがれてきたもの　⑩** | | | |
|  |  | |
| オリエンテーション　① | | | |  |
|  |  | |
| 琉球王国時大に始まった那覇大綱曳　② | | | |  |
|  |  | |
| 一度途絶えた那覇大綱曳　① | | | |  |
|  |  | |
| 旗頭　① | | | |  |
|  |  | |
| わたしたちの住む地域でうけつがれるもの　① | | | |  |
|  |  | |
| 昔から今へと続いている大切なものを探してみよう。　① | | | |  |
|  |
| 阿波人形浄瑠璃と農村舞台を守るために　①「教科書を使って学習」 | | | |  | |
|  | |  | | | |
| **まとめる**　未来へ、受けつがれていくために　①「教科書を使って学習」 | | | |
|  | |  | | | |
| **つなげる**　わたしたちも伝えよう　①「教科書を使って学習」 | | | |

○の中の数字は、配当時数

**単元名：４　地域で受けつがれてきたもの　【配当10時間】**

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表、（行）＝行動観察、（ノ）＝ノート・作品、（テ）＝テスト

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ページ | 本時のねらい | ○主な学習活動／◆学習内容 | 本時の学習活動 | 評価規準/評価方法 |
| オリエンテーション  副読本  Ｐ１０４ 【配時１】 | 自分たちの県には、大勢の人が参加したり、見物したりしている年中行事があることを捉える。 | ○地域の伝統行事の写真などを見て、知っていることや感じたことを話し合う。  ◆那覇大綱曳まつりは大勢の人が大綱を曳きに集まり、他地域からは多くの見物客が来る祭りであること。 | ①地域で行われる年中行事を発表する。  ②那覇大綱曳まつりについて、知っていることを発表する。  ③那覇大綱曳まつりの写真を見て、気になったことや知りたくなったことを話し合う。 | 【知技】自分たちの県を代表する年中行事には、大勢の人が参加したり、見物に来たりしていることを捉えている。（発）（ノ） |
| 琉球王国時大に始まった那覇大綱曳  副読本  Ｐ１０５ 【配時2】 | 那覇大綱曳の由来や歴史に着目して、那覇大綱曳が長い間、人々に受け継がれてきたことについて調べ、学習の見通しをもつ。 | ○那覇大綱曳の資料や写真を見て、那覇大綱曳について気になったことや疑問に思ったことをもとに、学習問題をつくり、学習計画を立てる。  ◆那覇大綱曳は長い間地域で受け継がれてきたこと、那覇大綱曳の様子は変化してきたこと。 | ①那覇大綱曳のことを調べる。  ②調べたことをもとに、気になったことや疑問に思ったことを話し合う。  ③話し合ったことをもとに学習の見通しを立てる。 | 【思判表】那覇大綱曳の様子を見て感じたことや考えたことをもとに問いを見出し、学習の見通しを立てる。（発）（ノ）  【態】那覇大綱曳がどのように継承されてきたかについて予想を話し合い、見通しをもって主体的に追究しようとしている。（発）（行） |
| 一度途絶えた那覇大綱曳  副読本  Ｐ１０６ 【配時1】 | 那覇大綱曳のもつよさに着目して、「綱方」の人から話を聞いたりしてまつりに関わる人の思いを捉える。 | ○那覇大綱曳のよさを聞いたり、「綱方」の人から話を聞いたりして、那覇大綱曳にどのようなよさがあるのかを話し合う。  ◆那覇大綱曳は地域の人々にとって特別な思いのある行事であること。多くの人が協力し、気持ちを一つにして盛り上げていること。 | ①「綱方」の人に、那覇大綱曳のよさを聞く。  ②準備・本番と那覇大綱曳にかかわる人たちのことについて知る。  ③那覇大綱曳のよさについて、分かったことをノートに書く。 | 【知技】「綱方」の人の話を聞いて、那覇大綱曳は参加する全員が一緒になって盛り上げる特別な行事であることを理解している。（発）（ノ） |
| 旗頭  副読本  Ｐ１０７ 【配時1】 | 那覇大綱曳まつりでは地域で大切にされている旗頭も参加することで、まつりを盛り上げていることを理解すし、身近な地域にも伝統を生かすまつりがないか考える。 | 那覇大綱曳まつりや地域の伝統行事で旗頭に取り組む方から話を聞いて、那覇大綱曳と旗頭演舞が一緒になって伝統を守っていることを知る。  ◆那覇大綱曳と旗頭の演舞が一緒になって那覇大綱曳まつりとなっていること。地域の伝統行事で協力があったこと。 | ①那覇大綱曳まつりに協力する旗頭に取り組む人の思いを調べる。  ②旗頭がどのように広がっていったのかを調べる。  ③自分たちの地域にも昔から受け継がれたものがないか調べる計画を立てる。 | 【知技】旗頭の継承や発展には、様々な人々の工夫や努力があったことを理解している。（発）（ノ）  【思判表】学習問題を確かめ、旗頭がどのようにして復興し、受け継がれてきたのかについて、考えたことを表現している。（発）（ノ） |
| わたしたちの住む地域でうけつがれるもの  副読本  Ｐ１０８  【配時１】 | 自分たちが住む地域にある、昔から受け継がれた伝統行事があることを捉える。 | 那覇市の首里では「琉球王朝祭り首里」が行われており、まつりが発展した経緯や取り組みについて知る。  ◆「琉球王朝祭り首里」では、古式行列が行われること。名前を変えながら受け継がれてきたこと。 | ①「琉球王朝祭り首里」の写真から気づいたことや疑問に思ったことを話し合う。  ②「琉球王朝祭り首里」のこれまでの歴史について分かったことをまとめる。  ③「琉球王朝祭り首里」を守る人々の思いをまとめる。 | 【知技】「琉球王朝祭り」で行われる古式行列のことを知り、それらを守る人々の思いや努力があることを理解している。（発）（ノ） |
| 昔から今へと続いている大切なものを探してみよう。  副読本  Ｐ１０９  【配時１】 | 「琉球王朝祭り」の古式行列は昔の王様の行列の様子を再現していること、当時の王様が立ち寄った場所には様々な願いを込められていたことを捉える。 | 王様がお参りしたお寺の場所やお参りの目的について古地図などを使いながらまとめる。  ◆「琉球王朝祭り首里」の古式行列は、昔の王様のお寺への参拝の様子を再現していること。国の平和と農作物の豊作を願うためにお参りしていたこと。 | ①現在の地図と古地図を見比べて、お寺があった場所を調べる。  ②王様がお寺に参拝した理由について調べ、気づいたことや疑問に思ったことを話し合う。  ③地域に残る古いものなどについて話し合う。 | 【知技】「琉球王朝祭り」で行われる古式行列が、昔の王様が国の安泰や作物の豊作を願ってお寺を参拝した様子を再現したものであることを理解している。（発）（ノ） |
| ＜まとめる＞ 阿波おどりの発展を願って  教科書  P122～123 【配時1】  「教科書を使って学習して下さい」 | 阿波おどりが発展してきた経緯や、人々の取り組みをふり返り、学習問題について自分の考えをまとめる。 | ○阿波おどりが発展した経緯や、様々な立場の人々の取り組みについて、調べてきたことをまとめる。  ◆阿波おどりは様々な立場の人々の取り組みによって発展し、他地域にも広まったこと。地域の一員として、阿波おどりの発展にむけて自分たちにできる取り組みがあること。 | ①学習問題を確かめ、誰がどのような取り組みをしたか、調べたことを表に整理する。  ②調べてきた取り組みの中から、自分が大切だと思うものを選び、理由とともに発表する。  ③阿波おどりでの学習を生かし、他の伝統文化について調べるための学習問題を立てる。 | 【思判表】学習問題を確かめ、阿波おどりが長く続いてきたことや、そのための人々の取り組みについてわかったことを自分の言葉で適切に表現している。（発）（ノ）  【思判表】阿波おどりがさらに発展していくために自分にできることを学習したことをふまえて選択・判断し、発表している。（発）（行） |
| 阿波人形浄瑠璃について調べよう P124～125 【配時2】  「教科書を使って学習して下さい」 | 阿波人形浄瑠璃の歴史に着目し、長い間、県の伝統芸能として、人々に継承されてきたことを理解する。 | ○阿波人形浄瑠璃がどのようなものかについて、資料館の人や人形つかいの人から話を聞いたり、年表や資料を使って調べたりする。  ◆阿波人形浄瑠璃は国の重要文化財であり、人々の楽しみとして長い間受け継がれてきたこと。阿波人形浄瑠璃を守り伝えたいと願う人々によって、現在も継承への努力が続けられていること。 | ①資料館へ行き、阿波人形浄瑠璃について調べる。  ②阿波人形浄瑠璃で使われる人形を動かしてみる。  ③阿波人形浄瑠璃を守り伝える人の思いや願いを調べる。 | 【知技】阿波人形浄瑠璃には長い歴史があり、それを守り伝えていくために人々が様々な努力をしていることを理解している。（発）（ノ） |
| 阿波人形浄瑠璃と農村舞台を守るために P126～127 【配時１】  「教科書を使って学習して下さい」 | 阿波人形浄瑠璃が上演される農村舞台に着目し、阿波人形浄瑠璃と一体的に保存が行われてきたことを捉える。 | ○農村舞台の保存に携わる人から話を聞いたり、阿波人形浄瑠璃や農村舞台を保存・継承していくための取り組みについて調べたりする。  ◆阿波人形浄瑠璃が隆盛の時代には多数の農村舞台が存在したこと。現在、阿波人形浄瑠璃と農村舞台を守るための取り組みが工夫しながら進められていること。 | ①農村舞台が保存されるようになるまでにどのようなできごとがあったかを調べる。  ②農村舞台の保存に関わる人から、保存の取り組みについて話を聞く。  ③阿波人形浄瑠璃と農村舞台を守り伝えるための工夫を調べる。 | 【知技】阿波人形浄瑠璃を守り伝えるためには、農村舞台の保存も大切であり、そのために様々な取り組みが行われていることを理解している。（発）（ノ） |
| ＜まとめる＞ 未来へ、受けつがれていくために P128～129 【配時1】  「教科書を使って学習して下さい」 | 調べてきたことをふり返って、学習問題について自分の考えをまとめ、県内の文化財や年中行事を保存・継承していくために自分にできることを考え、表現する。 | ○調べてきた文化財や年中行事についてふり返り、それぞれの歴史や保存・継承のための取り組みといった項目に分けて表に整理する。整理した表を見て、調べた文化財や年中行事に関する共通点、相違点を見出す。  ◆文化財や年中行事を保存・継承していくために自分たちにできる取り組みがあること。 | ①阿波人形浄瑠璃を保存・継承していくための取り組みについてふり返る。  ②阿波人形浄瑠璃と阿波おどりについて調べたことを比べながら表に整理する。  ③学習したことをふり返り、文化財や年中行事を保存・継承していくために大切だと思うことを考え、デジタル紙芝居に表現する。 | 【思判表】学習問題を確かめ、阿波人形浄瑠璃がどのように継承されてきたかについて、自分の考えを表している。（発）（ノ）  【思判表】文化財や年中行事の保存や継承に関わって、自分が協力できることを考えたり学習したことの中から選択・判断したりして、適切に発表している。（発）（ノ） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **大単元５** | **昔から今へと続くまちづくり** | **配当時間　９時間** | **わたしたちの那覇市**  **Ｐ１１０～１１８** |

**目　　標**

●地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

●地域の発展に尽くした先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて、先人が当時の地域や人々の生活の向上に貢献したことを考え、表現する力を養う。

●地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

**評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **知識・技能** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| ・地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。  ・先人の働きについて、博物館や資料館などを見学したり、昔と現在の市の地図や写真などの資料で調べたりして、年表などにまとめている。 | ・当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめ、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現している。 | ・先人の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 |

**大単元の構成**

|  |  |
| --- | --- |
| **昔から今へと続くまちづくり　⑬** | |
|  |  |
| オリエンテーション　① | |
|  |  |
| ああ、台風や日照りがなければ！　① | |
|  |  |
| いもをうえさせよう！① | |
|  |  |
| さらに苦しむ人々　① | |
|  |  |
| 木綿おりを広めよう　① | |
|  |  |
| 黒糖づくりを思いつく　① | |
|  |
| 儀間真常「親方」になる　① | |
|  |  |
| 変わる黒糖づくり　② | |
|  | |

○の中の数字は、配当時数

**単元名：５　昔から今へと続くまちづくり　【配当13時間】**

※「昔から今へと続くまちづくり」とP152～153、P154～155、P156～157、P158～159のいずれかの内容を選択して学習

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表、（行）＝行動観察、（ノ）＝ノート・作品、（テ）＝テスト

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ページ | 本時のねらい | | ○主な学習活動／◆学習内容 | 本時の学習活動 | | 評価規準/評価方法 | |
| オリエンテーション  副読本  Ｐ１１０ 【配時１】 | 地域に残る、昔の偉人の様子を伝えるお墓や石碑などにに着目して、自分たちの地域の昔の様子を捉える。 | | ○地域に残る偉人のお墓や石碑の様子を伝える写真等を見て、地域は昔どのような様子（くらし）だったのかを話し合ったり、調べたりする。  ◆約460年前の地域は、生活が苦しく、台風や日照りのため餓死する人も多かったこと。 | ①地域に残る偉人のはたらきを称える史跡等を見学する。  ②地域は昔、どのような所だったのかを話し合う。  ③地域は昔、どのような生活をしていたのかについて調べる。 | | 【知技】自分たちの地域は、昔、台風や日照りのため生活が苦しく餓死者が出たことや、年貢などで苦しんでいたことを捉えている。（発）（ノ） | |
| ああ、台風や日照りがなければ！  副読本  Ｐ１１１ 【配時1】 | 昔の地域の人々が抱えていた課題に着目して、どのような生活をしていたのかを捉える。 | | ○当時の人々の生活について気づいたことや疑問に感じたことなどを友達と話し合う。  ◆昔の人々には多くの税が課されていたこと。自分たちが作った米を食べることができず、天候の不順によっては餓死者もでていたこと。 | ①当時の村人には多くの税がかけられていたことを調べる。  ②調べたことをもとに、気になったことや疑問に思ったことを話し合う。  ③当時の村人の生活の様子についてまとめる。 | | 【思判表】自分たちの地域の過去の生活の様子を知り、まとめることができる。（発）（ノ）  【態】自分たちの地域が生活が苦しくて大変だったことに関心を持ち、進んで話し合い、主体的に追究しようとしている。（発）（ノ） | |
| いもをうえさせよう！  副読本  Ｐ１１２ 【配時1】 | 食糧難を解決するためにいもの栽培に力を入れた儀間真常に着目し、いもの栽培が人々の飢えを減らしたことを捉える。 | | ○儀間真常と野国総管によって沖縄全体にいもの栽培が広がっていく様子をしらべる。  ◆中国からいもを持ち帰ったのは野国総管であり、儀間真常が栽培方法を広げたこと。いもの栽培が人々の飢えを減らしたこと。 | ①当時の食糧事情についてしらべる。  ②いもの伝来によって食料事情が好転し、人口が増えたことをしらべる。  ③野国総管と儀間真常のはたらきについてまとめる。 | | 【知技】野国総管が中国から持ち帰ったいもの苗を儀間真常が栽培方法を広めたことで人々の飢えを減らしたことを理解している。（発）（ノ） | |
| さらに苦しむ人々  副読本  Ｐ１１３ 【配時１】 | 薩摩侵入に着目し、薩摩による支配と苦しい生活の様子を捉える。 | | ○薩摩軍による琉球侵攻について調べ、薩摩の支配が琉球に与えた影響について調べる。  ◆薩摩による琉球の支配が270年にわたって続いたこと。薩摩への貢ぎ物が人々にとって苦しい生活を強いるようになったこと。 | ①薩摩による琉球侵攻の様子について調べる。  ②薩摩への貢ぎ物について調べる。  ③薩摩の支配によって人々の生活が苦しかったことをまとめる。 | | 【知技】薩摩に支配されることによって琉球の人々の生活がより苦しくなったことを理解している。（発）（ノ） | |
| 木綿おりを広めよう  副読本  Ｐ１１４ 【配時1】 | 当時の琉球の主な服装（芭蕉布の着物）に着目し、木綿おりを広めることで冬でも暖かくすごせるようにするために努力した儀間真常の思いを捉える。 | | ○木綿おりに興味を持ち、薩摩から綿の種を持ち帰って木綿づくりを広げた儀間真常の努力や工夫を調べる。  ◆儀間真常が薩摩から綿の種を持ち帰り、木綿おりを広める努力をしたこと。木綿おりが広がることで、冬でも暖かくすごせるようになったこと。 | ①なぜ儀間真常が沖縄に木綿おりを広めようと思ったのか調べる。  ②木綿おりを広めるために努力する様子を調べる。  ③木綿おりが広まって人々の生活がどのように変わったのかについて話し合う。 | | 【知技】儀間真常が薩摩から綿の種を持ち帰り、栽培方法を研究して沖縄に木綿おりを広め、人々の生活を改善していったことを理解している。（発）（ノ） | |
| 黒糖づくりを思いつく  副読本  Ｐ１１５1 【配時1】 | 人々の生活を豊かにするため、黒糖作りを沖縄に広めた儀間真常の思いや努力、工夫を捉える。 | | ○想像図を見るなどして黒糖作りの様子を調べ、儀間真常がどのようにして黒糖作りを完成させることができたのかについて調べる。  ◆儀間真常が村人を中国に派遣し黒糖作りを学ばせたこと。自宅の近くに工場を作り黒糖作りを研究し、その方法を沖縄の各地に指導したこと。それにより人々の生活の質が向上したこと。 | ①儀間真常がなぜ黒糖作りを広めようと思ったのか調べる。  ②どのようにして黒糖作りを広めたのか調べる。  ③黒糖作りが人々の生活にどのような影響を与えたのかについて話し合う。 | | 【知技】沖縄に黒糖作りを広めるため、村人を派遣したり作り方を研究するなど、儀間真常が努力や工夫したことを理解している。（発）（ノ） | |
| 儀間真常「親方」になる  副読本  Ｐ１１６ 【配時１】 | 儀間真常が行った数々の努力や工夫に着目して、調べてきたことをまとめ整理する。 | | ○儀間真常が「親方」になったことに着目し、どのような功績で取り立てられたのか、なぜ「沖縄産業の父」と呼ばれたのかを調べてまとめる。  ◆儀間真常は王様によって「親方」にとりたてられたこと。「親方」は役人として最高の位であり、「沖縄産業の父」と呼ばれたこと。 | ①これまでに調べて分かったことをふり返る。  ②儀間真常の働きについて分かったこと、気づいたことを話し合いまとめる。  ③琉球の五偉人について調べる。 | | 【知技】儀間真常が行ってきた数々の偉業により、「沖縄産業の父」と呼ばれていることを理解している。（発）（ノ） | |
| 変わる黒糖づくり  さとうきびさいばいと黒糖づくち  副読本  Ｐ１１７ 【配時2】 | 沖縄の産業である黒糖作りに関心を持ち、黒糖作りの移り変わりについて考えたり、調べたりする。 | | ○儀間真常が広めた黒糖作りが新しい技術を取り入れながら現在まで受け継がれている様子について調べる。  ◆黒糖作りは現在も沖縄の産業にとって重要であること。新しい技術を活用して生産を続けていること。 | ①さとうきびのしぼり方のうつりかわりについて調べ、気づいたことを話し合う。  ②農業研究センターの人の話を読み、黒糖作りが今でも重要な産業である事を知る。  ③黒糖作りがわたしたちの生活とどのような関わりがあるかを調べてパネルにまとめる。 | | 【知技】さとうきび栽培や黒糖作りは現在も沖縄の重要な産業であり、我々の生活に結びついていることを捉えている。（発）（ノ）  【態】黒糖作りと生活の結びつきについてまとめパネルで表現している。 | |
| ＜まとめる＞ 昔と今を地図でつなげよう！  教科書  P150～151  【配時１】  「教科書を使って学習して下さい」 | 前に整理した見沼代用水の絵地図上に、その後調べたことを付箋に書いて追加して貼り、絵地図をより充実したものにしながら、学習をまとめることができる。 | | ○前に作成した見沼代用水の絵地図に、その後調べた弥惣兵衛の苦心や工事の工夫、開発後の地域の様子、今の見沼新田や見沼代用水などを付箋に書き足して貼付し、学習を整理する。  ◆見沼代用水の工事は弥惣兵衛によって様々な工夫が施され、完成したこと。新田開発で地域の人々の生活は豊かになり、今も見沼新田や見沼代用水は地域の人々に大切にされていること。 | ①見沼代用水の開削と新田開発について、さらに調べたことを年表や地図にまとめる。  ②整理した年表や地図を見て、学習問題について自分の考えをノートに書く。  ③新田開発を終えた弥惣兵衛の気持ちや、自分が弥惣兵衛に伝えたいことについて考え、話し合う。 | | 【知技】調べてきたことをノートにまとめ、井沢弥惣兵衛の新田開発によって地域の人々の暮らしは豊かになったことを理解している。（発）（ノ）  【思判表】学習問題を確かめ、新田開発の成果や井沢弥惣兵衛の功績について考え、表現している。（発）（ノ） | |
| ＜せんたく＞ 地域に学校をひらく P152～153 | | 地域の課題や人々の願いに着目して、地域に学校を開いた小笠原東陽が、地域の教育発展に貢献したことを捉えることができる。 | ○地域で最初に開設された学校と、開設した人物について調べたことをノートや年表にまとめたり、それらをもとに、地域の人々の願い、学校の開設や運営に関わる苦労や努力について話し合ったりする。  ◆小笠原東陽は、地域の人々の願いにもとづいて学校を開設し、地域の教育発展に尽力したこと。また、多くの生徒を輩出し、学校のある地域は、その後県の教育の中心地になったこと。 | ①地域で初めて学校を開いた人物について調べる。  ②小笠原東陽は、どのような願いから学校をつくったのか、話し合う。  ③調べたことを年表にまとめる。 | 【態】地域で初めて学校を開いた小笠原東陽について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。（発）（行）（ノ）  【知技】小笠原東陽や耕余塾について、年表や資料を使って調べたことをノートなどに書いている。（発）（ノ）  【思判表】学習問題を確かめ、小笠原東陽が地域にもたらした功績について考え、表現している。（発）（ノ） | |
| ＜せんたく＞ 地域の人々を病気から救う P154～155 | | 地域の課題や人々の願いに着目して、地域の住民を病気から救った杉浦医師が、地域医療の発展に貢献したことを捉えることができる。 | ○資料館などへ行き、地域の人々を病気から救うことに尽力した杉浦医師親子の取り組みや経歴について調べたり、彼らの努力によって地域の人々の生活はどのように変わったかについて話し合ったりする。  ◆かつて地域の人々は原因不明の病気に苦しんでいたこと。その病気から人々を守るために杉浦医師親子が様々な取り組みを行ったこと。 | ①資料館へ行き、地域の人々を病気から救った人物について調べる。  ②病気から人々を救うための杉浦健造と三郎の取り組みを調べる。  ③病気をなくす取り組みは、どのようにして進められたかを調べる。 | 【態】地域の人々を病気から救った杉浦医師親子について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。（発）（ノ）  【知技】杉浦親子について、年表や資料を使って調べたことをノートなどに書いている。（発）（ノ）  【思判表】学習問題を確かめ、杉浦親子が地域にもたらした功績について考え、表現している。（発）（ノ） | |
| ＜せんたく＞ 沖縄の文化のよさを伝える P156～157 | | 地域の課題や人々の願いに着目して、沖縄の文化のよさを広めた伊波普猷が、地域固有の文化の保護や普及に貢献したことを捉えることができる。 | ○昔から沖縄に伝えられる文化を保護、伝承するために伊波普猷はどのような努力をしてきたのかを調べたり、伊波普猷によって沖縄の人々は自分たちの文化をどのように捉えるようになったかを考えたりする。  ◆沖縄の文化のよさが人々に認められなかった時代があったこと。伊波普猷の尽力によって、沖縄の文化のよさが広く認められるようになったこと。 | ①沖縄の文化のよさを伝えてきた人物を調べる。  ②沖縄の文化のよさを伝えるために、伊波普猷はどのような努力をしたかを調べる。  ③伊波普猷の取り組みで、沖縄の人々の考えはどのように変わったか考える。 | 【態】地域の文化のよさを伝えた伊波普猷について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。（発）（ノ）  【知技】伊波普猷について、年表や資料を使って調べたことをノートなどに書いている。（発）（ノ）  【思判表】学習問題を確かめ、伊波普猷が地域にもたらした功績について考え、表現している。（発）（ノ） | |
| ＜せんたく＞ 北海道で、いねを実らせる P158～159 | | 地域の課題や人々の願いに着目して、北海道での稲作を実現した中山久蔵が、地域の産業発展に貢献したことを捉えることができる。 | ○北海道での稲作を可能にした中山久蔵の略歴や取り組みを年表や資料などで具体的に調べ、久蔵の功績が人々の生活に与えた影響について話し合う。  ◆150年程前の北海道は稲作ができなかったこと。中山久蔵が努力して寒冷地に強い稲の品種を作り出したこと。久蔵の工夫や努力によって北海道での米づくりが可能となり、米の一大産地になっていること。 | ①北海道での米づくりを、広めた人物を調べる。  ②中山久蔵が行ったくふうや努力について調べる。  ③久蔵のはたらきによって、地域はどのように変わったかを調べる。 | 【態】北海道での稲作を実現した中山久蔵について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。（発）（ノ）  【知技】中山久蔵について、年表や資料を使って調べたことをノートなどに書いている。（発）（ノ）  【思判表】学習問題を確かめ、中山久蔵が地域にもたらした功績について考え、表現している。（発）（ノ） | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **大単元６** | **わたしたちの県のまちづくり** | **配当時間　19時間** | **わたしたちの那覇市**  **Ｐ１１９～１３５** |

**目　　標**

●自分たちの県内の特色ある地域について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

●自分たちの県内の特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、文章で記述したり、白地図などにまとめたことをもとに説明したりする力を養う。

●自分たちの県内の特色ある地域について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

**評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **知識・技能** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| ・県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。  ・地図帳や各種資料で調べ白地図などにまとめている。 | ・特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。 | ・県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 |

**大単元の構成**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| オリエンテーション　① | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|  |  |  | 私たちの那覇市では、地域の良さを生かしたまちづくりを掲載 | | | |  | |  | | | | | | | |  | |
|  | | ※いずれか一つを選択 | | | |
| **１　織物を生かしたまちづくり　⑤** | | **２　地域のよさを生かしたまちづくり　⑤** | | | |  | **２　自然を生かしたまちづくり** | | | | |  | | **３　国際交流がさかんなまちづくり　⑤** | | | |
|  |  |  | |  | |  | |  | | | | | | | |  | |
| 織物作りがさかんな大宜味村① | |  | 豊かな海に恵まれたうるま市　① | | | |  | 海と山に囲まれた  岡垣町 | | | | |  | | 国際交流が盛んな沖縄県　① | | | |
|  |  | | | |  | |  | |  | | | | | | | |  | |
| もっと知りたい大宜味村　① | |  | 豊かな自然環境を生かした産業　① | | | |  | アカウミガメを守る地域の人々 | | | | |  | | 世界につながる那覇市　① | | | |
|  |  | | | |  | | | | |  | | |  | | | |  | |
| 芭蕉布が広まったわけは　① | |  | 勝連漁業協同組合の取り組み  　① | | | |  | 自然のよさを生かしたびわづくり | | | | |  | | 国際交流に取り組む浦添市　② | | | |
|  |  |  | | | |  |  | |  | | | | | | | |  | |
| 芭蕉布ができるまで　① | |  | 昔のものが多く残るうるま市　① | | | |  | 「海がめもかえるまち」のまちづくり | | | | |  | | |  | | |
|  |  | | | | |  | | | | |  | | | | |  | | | |
| 芭蕉布のよさを広めるために　① | |  | 未来に伝えたいうるま市のよさ　① | | | |  | **まとめる**　岡垣町の発展を願って | | | |  | | **まとめる**　世界との交流の輪が広がることを願って① | | | | |
|  | | | |  | | | | | | |  | | | | | | |  |
| 自分たちの県を外国の人にしょうかいしよう　② | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

○の中の数字は、配当時数

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **小単元１** | **織物を生かしたまちづくり** | **配当時間　５時間** | **私たちの那覇市** |

**目　　標**

●伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

●伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、文章で記述したり、白地図などにまとめたことをもとに説明したり話し合ったりする力を養う。

●伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

**評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **知識・技能** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| ・伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。  ・伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域ついて、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめている。 | ・伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。 | ・伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 |

**大単元名：６　わたしたちの県のまちづくり　【配当1時間】**

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表、（行）＝行動観察、（ノ）＝ノート・作品、（テ）＝テスト

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ページ | 本時のねらい | ○主な学習活動／◆学習内容 | 本時の学習活動 | 評価規準/評価方法 |
| オリエンテーション  副読本  Ｐ１１９ 【配時１】 | 特産物や観光で知られる県内の特色ある地域に着目し、それらを観光パンフレットやガイドブックなどで調べたり、地図で位置を確認したりする。 | ○県内から、地場産業が盛んな地域、歴史景観（または自然環境）に特色ある地域、国際交流が盛んな地域を調べる対象として選び出す。  ◆県内には、さまざまな特色をもった地域があること。 | ①県の地図を見ながら、知っている場所を発表する。  ②県内の特産物や観光で知られる地域をパンフレットなどで調べる。  ③調べたことをもとに、感じたことや、関心をもったことを話し合う。 | 【知技】県内には、自分たちが住んでいる市町村とは異なる、特産物や観光で知られるさまざまな地域があることを捉えている。（発）（ノ）。 |

**小単元名：１　織物を生かしたまちづくり　【配当5時間】**

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表、（行）＝行動観察、（ノ）＝ノート・作品、（テ）＝テスト

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ページ | 本時のねらい | ○主な学習活動／◆学習内容 | 本時の学習活動 | 評価規準/評価方法 |
| 織物づくりが盛んな大宜味村  副読本  Ｐ１２０ 【配時１】 | 大宜味村の位置や人口、村内の様子から大宜味村に関心を持ち、今後の学びに向かう意欲を高める。。 | ○沖縄県内の大宜味村の位置や大宜味村内の地図、人口の推移などについて、自分の住んでいる地域と比較したり調べたりする。  ◆大宜味村は那覇市から約９０ｋｍ離れた位置（通称やんばる）にあること。山やダム、海などに面し、自然が豊かな場所にあること。 | ①大宜味村の位置や、土地の様子を調べる。  ②大宜味村はどのような所か、地域の人から話を聞く。（ネットで調べる）  ③疑問を出し合って、学習問題をつくる。 | 【知技】大宜味村が沖縄本島北部にあり、自然が豊かな環境であることを捉えている。（発）（ノ）  【態】大宜味村で織物づくりが行われているわけについて予想を話し合い、見通しをもって主体的に追究しようとしている。（発）（ノ） |
| もっと知りたい大宜味村  副読本  Ｐ１２１ 【配時１】 | 大宜味村の特徴に着目して、大宜味村の特産品や伝統行事、豊かな自然などについて調べる。 | ○大宜味村の写真や資料などを見て、大宜味村の特産品や伝統行事、豊かな自然などのことを調べるたりまとめたりする。  ◆大宜味村の特産品には、シークヮーサーや芭蕉布があること。無形文化財の伝統行事やユネスコ世界遺産に指定された豊かな自然があること。 | ①大宜味村の特産品について調べる。  ②大宜味村の伝統行事や自然についてしらべる。  ③調べてわかったことをノートに書く。 | 【知技】大宜味村には自然を生かした特産品があることや、特徴のある伝統行事、豊かな自然があることを捉えている。（発）（ノ） |
| 芭蕉布が広まったわけは  副読本  Ｐ１２２ 【配時１】 | 芭蕉布が広まったわけについて関心を持ち、芭蕉布づくりに取り組んでいる人々の努力や工夫を調べる。 | ○芭蕉布会館の方のお話から、芭蕉布の歴史や戦後どのように人々に知られ広まっていったのかについて調べる。  ◆芭蕉布は涼しく亜熱帯気候の沖縄には最適で昔から沖縄の人々の着物として使われてきたこと。戦後平良敏子さんの努力で広められてきたこと。 | ①芭蕉布が使われてきた歴史について調べる。  ②「人間国宝」平良敏子さんの努力や苦労について調べる。  ③調べたことを通して考えたことを話し合う。 | 【思判表】芭蕉布を守り広めてきた「人間国宝」平良敏子さんの功績について考え、表現している。（発）（ノ） |
| 芭蕉布ができるまで  副読本  Ｐ123～124 【配時1】 | 芭蕉布会館の方の話から、芭蕉布作りについて関心を持ち、作り方を調べる。 | ○芭蕉布が作られるまでには多くの工程があることや、人々の手作業で行われることを調べ、芭蕉布づくりに携わる人々の努力や苦労について考えまとめる。  ◆芭蕉布作りは原料の芭蕉の栽培からはじまり全て手作業で行っていること。多くの工程を経て完成すること。 | ①原料や染め材などについて調べる。  ②芭蕉布を作る工程について調べる。  ③調べたことを元に芭蕉布作りについて気づいたことや感じたことを話し合う。 | 【知技】芭蕉布作りは全て手作りで多くの工程を経て作られていることを理科している。（発）（ノ） |
| 芭蕉布のよさを広めるために  副読本  Ｐ１２５ 【配時１】 | 芭蕉布作りにたずさわる大宜味村の人々の話から、これからの芭蕉布の発展について自分の考えをまとめる。 | ○芭蕉布作りに携わる人々の話をふり返って、芭蕉布の良さを広めるための願いや工夫について調べ、これからの芭蕉布の八手について自分の考えをノートに書く。  ◆芭蕉布の良さを広めるために努力する人々がいること。芭蕉布を使った製品が沖縄だけでなく県外に輸出されていること。 | ①大宜味村の人たちの話を聞いて人々の思いをまとめる。  ②芭蕉布づくりを広める取り組みについてまとめる。  ③これからの芭蕉布づくりの発展に必要なことは何か、自分の意見を持って話し合う。 | 【知技】大宜味村の人々は、芭蕉布作りに誇りを持ち、様々な努力やお互いの協力で芭蕉布作りを盛んにしようと取り組んでいることを捉えている。（発）（ノ）  【思判表】これからの芭蕉布作りに大切なことは何か、考えたことを表現している。（発）（ノ） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **小単元２** | **地域のよさを生かしたまちづくり** | **配当時間　６時間** | **私たちの那覇市**  **Ｐ１２６～１３１** |

**目　　標**

●県内の豊かな自然や伝統的な文化を保護・活用している地域について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

●県内の豊かな自然や伝統的な文化を保護・活用している地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、文章で記述したり、白地図などにまとめたことをもとに説明したり話し合ったりする力を養う。

●豊かな自然や伝統的な文化をまちづくりにどのように生かしているかについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、地域社会のよりよい発展を考えていこうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

**評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **知識・技能** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| ・豊かな自然を生かして育てる漁業に取り組む地域の人々は環境問題にも協力しながら取り組んでいることを理解している。  ・伝統的な文化を保護・活用している地域では，人々が協力し，特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。  ・伝統的な文化を保護・活用している地域について，地図帳や各種の資料で調べ，白地図などにまとめている。 | ・豊かな自然を守りながら漁業に取り組む人々の願いや努力の様子を捉え、表現している。  ・伝統的な文化を保護・活用している地域の位置や自然環境，人々の活動や産業の歴史的背景，人々の協力関係などに着目して，地域の様子を捉え，それらの特色を考え，表現している。 | ・豊かな自然や伝統的な文化を保護・活用している地域について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 |

**小単元名：２　地域のよさを生かしたまちづくり　【配当６時間】**

※「昔のものが多く残るうるま市」か、P188～197の内容のいずれかを選択して学習

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表、（行）＝行動観察、（ノ）＝ノート・作品、（テ）＝テスト

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ページ | 本時のねらい | ○主な学習活動／◆学習内容 | 本時の学習活動 | 評価規準/評価方法 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 豊かな海にめぐまれたうるま市  副読本  Ｐ１２６ 【配時１】 | うるま市の位置や人口、市の特徴などからうるま市に関心を持ち、今後の学びに向かう意欲を高める。 | ○沖縄県内のうるま市の位置や主な産業、文化財、人口の推移などについて、自分の住んでいる地域と比較したり調べたりする。  ◆うるま市は２町２村が合併してできたこと。那覇市から北東に約２５ｋｍ離れた位置にあること。金武湾と中城湾に接し、豊かな海のめぐみがあること。 | ①うるま市の成り立ちや位置について調べる。  ②うるま市にある産業や世界遺産、特徴的な交通手段などについて調べる。  ③疑問を出し合って、学習問題をつくる。 | 【知技】うるま市が沖縄本島中部にあり、豊かな海と多くの産業が発展していることを捉えている。（発）（ノ）  【態】うるま市が発展していることを捉え、うるま市の学習について意欲的主体的に追究しようとしている。（発）（ノ） |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 豊かな自然環境を生かした産業  副読本  Ｐ127～128 【配時１】 | 沖縄県全体の４０％のもずくをうるま市が生産していることに関心を持ち、うるま市の漁業の様子について調べるための、学習の見通しをもつ。 | ○うるま市がもずくの生産に取り組む様子を調べ、おいしいもずくができるまでの様子についてまとめる。  ◆うるま市が「つくり育てる漁業」に力をいれていること。もずくの養殖には１年を通して多くの作業があること。 | ①もずくの養殖の様子を写真などで調べる。  ②もずくの養殖に関係する多くの仕事について調べる。  ③うるま市が沖縄県全体の４０％のもずくを生産できるようになったのはなぜだと思うか考え、話し合う。。 | 【思判表】うるま市が沖縄県全体の４０％のもずくを生産できるわけについて自分なりの考えを持ち、表現している。（発）（ノ） |
| 勝連漁業協同組合の取り組み  副読本  Ｐ１２９ 【配時１】 | 勝連漁業協同組合の方の話を聞き、うるま市がどのようにして沖縄県１位のもずくの生産ができるようになったのかを捉える。 | ○勝連漁業協同組合の方の話を通して、もずくの生産量沖縄一になるためにどのような努力をしているのかについて考える。  ◆もずく漁師がもずくの世話に取り組んだり海の環境を守る活動に取り組んでいること。もずくの九割は全国に出荷されていること。 | ①もずくを育てる漁師の取り組みを調べる。  ②もずくの販売促進や県外出荷などについて調べる。  ③調べたことをもとに、うるま市のもずく養殖の特色を考える。 | 【知技】うるま市では豊かな海と、漁師や漁業協同組合の人々の努力でもずくの養殖に取り組んでいることを捉えている。（発）（ノ） |
| 昔のものが多く残るうるま市  副読本  Ｐ１３０ 【配時１】 | うるま市に残される史跡や伝統文化財に着目し，それらの保存をめぐる出来事や，人々の取り組みがあることを捉える。 | ○うるま市に残る史跡や文化財伝統行事を調べ，どの継承に努力する人々の思いを捉える。  ◆世界遺産や闘牛、エイサーを大切に思う人々の関わりによって、継承されていることを捉える。 | ①うるま市で継承される史跡や文化財、伝統芸能について調べる。  ②史跡や文化財、伝統芸能の継承をめぐって、どのような努力や工夫があったのか調べる。  ③もずく生産以外のうるま市の魅力について話し合う。 | 【知技】うるま市では、自然や史跡、文化財、伝統芸能を大切に受け継ぎ、守っている人々がいるこを捉える。（発）（ノ） |
| 未来に伝えたいうるま市のよさ  副読本 Ｐ１３１ 【配時1】 | うるま市のよさについて整理し、うるま市のよさを伝える取組みについて捉える。うるま市が地域のよさをかつようしたまちづくりにとりくんでいることを捉える。 | ○うるま市のよさを伝える取組みを調べ，地域の人々はどのようなまちづくりを目ざしているのかを考える。  ◆うるま市は、新しい産業に取組みながら、昔から受け継いだよさも守るまちづくりを進めており，そこにはまちづくりに取り組む人々の思いや願いがあること。 | ①うるま市のよさを伝える地域の人々の取り組みを調べる。  ③調べたことをもとに，うるま市のよさについて話し合う。 | 【知技】うるま市のよさはどのようにしてつくられ、守られてきたのかを，まちづくりに関わる人々の取り組みを通して理解している。（発）（ノ）  【思判表】学習問題を確かめ，うるま市の魅力について考えたことを表現している。（発）（ノ） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **小単元３** | **国際交流がさかんなまちづくり** | **配当時間　４時間** | **わたしたちの那覇市**  **Ｐ１３２～１３５** |

**目　　標**

●県内の国際交流が盛んな地域について，人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに，調査活動，地図帳や各種の具体的資料を通して，必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

●県内の国際交流が盛んな地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり，自分たちの住む地域と比較したりして，その地域の特色を考え，文章で記述したり，白地図などにまとめたことをもとに説明したり話し合ったりする力を養う。

●国際交流が盛んな理由について，主体的に学習の問題を解決しようとする態度や，地域社会のよりよい発展を考えていこうとする態度を養うとともに，思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚を養う。

**評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **知識・技能** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| ・国際交流に取り組んでいる地域では，人々が協力し，特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。  ・国際交流に取り組んでいる地域について，地図帳や各種の資料で調べ，白地図などにまとめている。 | ・国際交流に取り組んでいる地域の位置や人々の活動や産業の歴史的背景，人々の協力関係などに着目して，地域の様子を捉え，それらの特色を考え，表現している。 | ・国際交流に取り組んでいる地域について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 |

**小単元名：３　国際交流がさかんなまちづくり　【配当４時間】**

【態】＝主体的に学習に取り組む態度，【知技】＝知識・技能，【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表，（行）＝行動観察，（ノ）＝ノート・作品，（テ）＝テスト

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ページ | 本時のねらい | ○主な学習活動／◆学習内容 | 本時の学習活動 | 評価規準/評価方法 |
| 国際交流がさかんな沖縄県  副読本 Ｐ１３２ 【配時１】 | 沖縄県では「世界のウチナーンチュ大会」が開かれていることに着目して，外国の人々とどのような交流が行われているのか、全体像を捉える。 | ○沖縄県で「世界のウチナーンチュ大会」が開催される理由や各市町村がどこの国との結びつきが強いのかについて調べる。  ◆沖縄県では、「世界のウチナーンチュ大会」が開催され、各市町村でも外国と交流が行われていること。  **学習問題　沖縄県では，どのような国際交流がどんな理由で行われているのだろう。** | ①国際交流が行われるようになった理由を調べる。  ②外国の人々とどのような交流がおこなわれているのかについて調べる。 | 【思判表】沖縄県の移民の歴史と現在の国際交流を関連づけて考えることができる。（発）（ノ）  【態】沖縄県や市町村ではどのような交流が行われているのかをまとめることができる。（発）（ノ） |
| 世界につながる那覇市  副読本 Ｐ１３３ 【配時１】 | 福州園や那覇港や那覇空港に着目して、那覇市と外国とのつながりについえ捉える。 | ○福州園や空路、航路でつながる国や入国者の出身国や人数を調べ，那覇市と外国との結びつき意見を出し合う。  ◆沖縄県の玄関口である那覇市が空路や航路でつながっており，歴史的には中国との交流が昔から今へ続いていること。 | ①那覇市と中国との交流が歴史的な背景に由来することを調べる。  ②空港と大きな港がある那覇市が沖縄県の外国との交流の入り口となっていることを調べる。  ③飛行機や船で結ばれる国や都市の位置を地図で調べる。 | 【知技】那覇市は歴史的な背景があって交流している国があることや空港や大きな港を通じて，多くの国々と結ばれていることを理解している。（発）（ノ） |
| 国際交流に取り組む浦添市  副読本 Ｐ134～135 【配時2】 | 浦添市国際交流課やＪＩＣＡを通した国際交流事業に着目して，国際交流の様子を捉える。 | ○浦添市ＪＩＣＡや浦添市国際交流課の国際交流事業につて調べ、中国と浦添市の友好親善、発展途上国からの研修生受け入れについて捉える。  ◆浦添市は中国泉州市との交流事業を行っていること。ＪＩＣＡは発展途上国の研修生を受け入れていること。。 | ①浦添市を含沖縄県に住む外国人がいだく、沖縄の印象について調べる。  ②ＪＩＣＡでの交流がこれからの沖縄県と外国の交流の発展につながることを捉える。  ③結びつきの強い国際交流にするための工夫について、調べたことを発表する。 | 【知技】浦添市や沖縄県の国際交流には歴史的な背景があり、現在はさらに多様な国々との交流が行われていることを理解している。また、現在の交流が未来の沖縄県の国際交流につながることを理解している。（発）（ノ） |